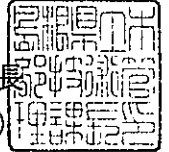


技 第 3 6 1 号
令和 元 年 1 2 月 1 7 日

(一社) 島根県建設業協会長 様

島根県土木部技術管理課長
(工事品質管理スタッフ)



工事現場の安全確保の徹底について (依頼)

本県の公共事業につきましては、平素から格別のご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、工事現場の安全確保の徹底を図るため、貴協会におかれましては、特別研修会・安全パトロールを行うなど事故防止に積極的に取り組まれ、特に本年度は熱中症予防の効果が現れていますが、本年度県発注の建設工事現場等における事故発生状況(11月末)は、別添のとおり飛来・落下、埋設管の事故が多発し、公衆災害が大幅に増加しています。

今後、冬期における気象条件の悪化等、作業環境も厳しさが増すことから、年度末に向けて事故発生が懸念されます。

つきましては、事故の発生を未然に防止するため、工事中における安全確保に一層努めて頂きますよう、貴協会会員の皆様に再度周知をお願いします。

なお、休暇期間中の現場管理については、受注者において気象条件の悪化、防犯等の対応など、事故等の無いように適正に管理して頂くこととなりますが、過度の負担を求めるものではないことを申し添えます。

担当者 (連絡先)

島根県土木部技術管理課

工事品質管理 S

青戸・山崎

TEL : 0852-22-5651

FAX : 0852-25-6329

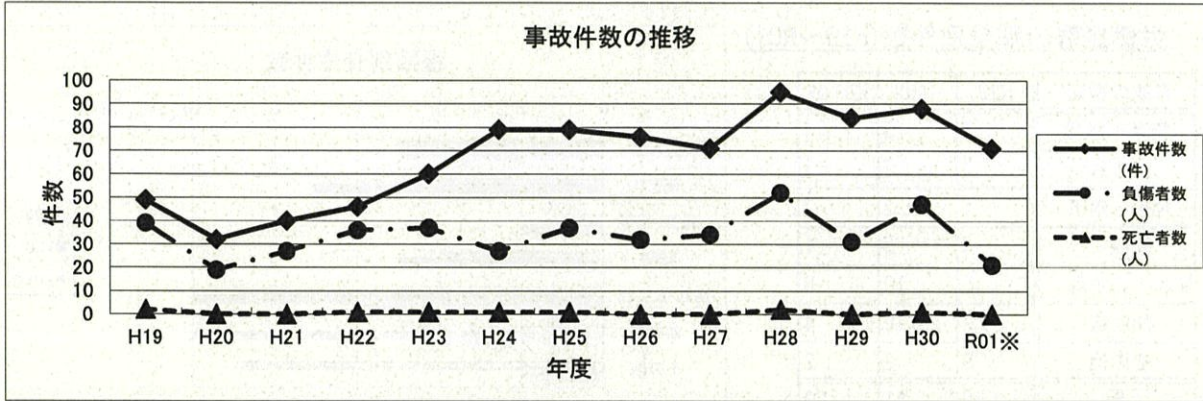
島根県発注建設工事・業務における事故の状況について (令和元年11月末)

島根県土木部技術管理課
20191210

1. 年度別事故件数(H19~R01)

H20. 4. 1: 事故処理の一元化、
委託業務、休業4日未満も対象

H23. 4. 1: 公衆災害も対象

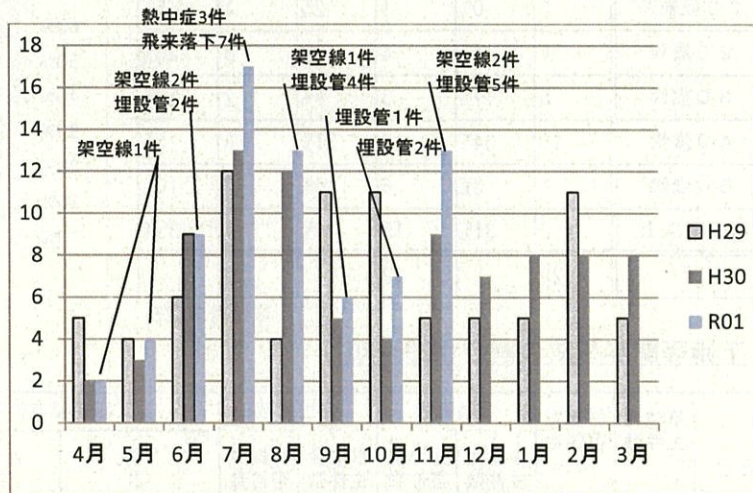


年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01※
事故件数(件)	49	32	40	46	60	79	79	76	71	95	84	88	71
負傷者数(人)	39	19	27	36	37	27	37	32	34	52	31	47	21
死亡者数(人)	2	0	0	1	1	1	1	0	0	2	0	1	0

※11月末現在

2. 月別事故件数(H29~R01)

月	H29	H30	R01	労災
4月	5	2	2	0
5月	4	3	4	2
6月	6	9	9	0
7月	12	13	17	7
8月	4	12	13	5
9月	11	5	6	2
10月	11	4	7	2
11月	5	9	13	2
12月	5	7		
1月	5	8		
2月	11	8		
3月	5	8		
計	84	88	71	20
11月末計	58	57	71	20



3. 事故の内訳(H29~R01)

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度※	11月末現在の比較		
				平成30年度①	令和元年度②	増減 ②-①
建設工事事故件数	84	88	71	58	71	13
労働災害件数	30	41	20	31	20	▲ 11
うち4日以上の休業	5	9	3	6	3	▲ 3
うち死亡事故	0	1	0	1	0	▲ 1
うち熱中症	2	10	4	10	4	▲ 6
公衆災害件数	54	47	51	21	51	30
うち架空線事故	13	7	7	5	7	2
うち埋設管事故	12	20	14	7	14	7
うちもらい事故の件数	5	3	2	2	2	0

4. 事務所別の事故件数(H29～R01)

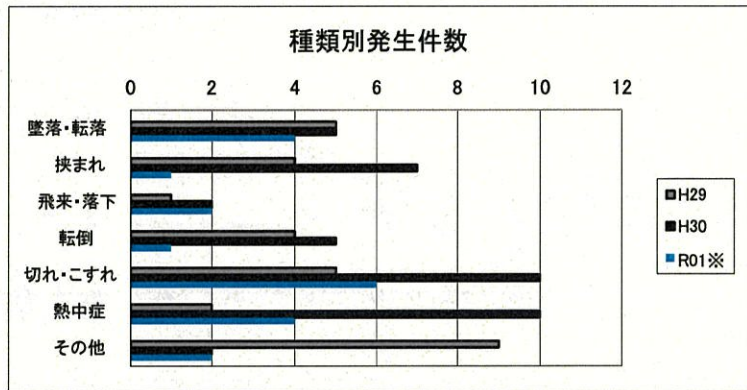
年度	松江 県土	広瀬 事業所	雲南 県土	仁多 事業所	出雲 県土	県央 県土	大田 事業所	浜田 県土	益田 県土	津和野 事業所	隠岐 県土	島前 事業部	その他	計
H29	10	1	10	5	9	10	3	13	3	9	2	3	6	84
H30	15	0	7	3	17	9	6	10	5	2	2	1	11	88
H30※	11	0	4	2	10	7	5	7	4	2	1	1	4	58
R01※	12	3	6	4	7	5	2	9	3	0	1	0	19	71
増減	1	3	2	2	▲3	▲2	▲3	2	▲1	▲2	0	▲1	15	13

※11月末現在 R01からその他に建築関係事故含む

5. 労働災害の種類別件数(H29～R01)

事故の種類	H29	H30	R01※
墜落・転落	5	5	4
挟まれ	4	7	1
飛来・落下	1	2	2
転倒	4	5	1
切れ・こすれ	5	10	6
熱中症	2	10	4
その他	9	2	2
計	30	41	20

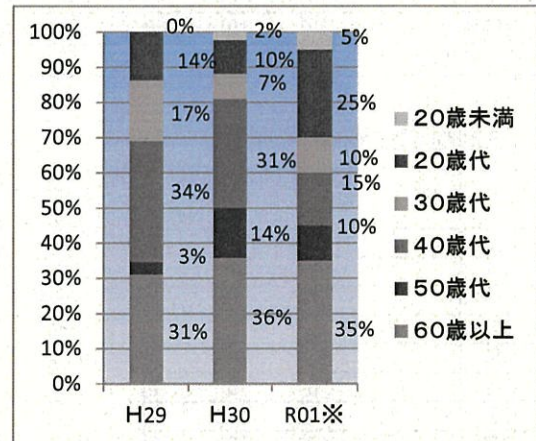
※11月末現在



6. 労働災害の年齢別死傷者数(H29～R01)

年齢	H29		H30		R01※	
	死傷者数	%	死傷者数	%	死傷者数	%
20歳未満	0	0%	1	2%	1	5%
20歳代	4	14%	4	10%	5	25%
30歳代	5	17%	3	7%	2	10%
40歳代	10	34%	13	31%	3	15%
50歳代	1	3%	6	14%	2	10%
60歳以上	9	31%	15	36%	7	35%
計	29		42		20	

※11月末現在



7. 下請等関与事故の割合(H29～R01)

下請等…下請及びガードマン等の委託を含む

年度	事故発生 件数 ①	労働災害 件数		負傷者数		死者数		下請等関与件数				備考
		事故発生 件数	労働災害 件数	事故発生 件数	労働災害 件数	事故発生 件数	労働災害 件数	件数 ②		割合 % ②/①		
	全体	内数	全体	内数	全体	内数	全体	内数	全体	内数		
H29	84	30	31	29	0	0	35	12	41.7%	40.0%		
H30	88	41	47	42	1	1	30	22	34.1%	53.7%	7月に死亡事故発生	
R01※	71	20	21	20	0	0	35	9	49.3%	45.0%		

※11月末現在

8. 令和元年11月末の発生事故の特徴

- ① 昨年度の同時期に比較し、事故件数が13件増加した。
- ② 労働災害の発生件数が昨年度同時期に比べ11件減少した。
- ③ 公衆災害の発生件数が昨年度同時期に比べ30件増加した。内架空線事故が2件、埋設管事故が7件増加した。
- ④ 今年度は、熱中症の発生は4件と減少した。
- ⑤ 今年度は、下請等関与事故の割合が高くなっている。

9. 事故予防対策のポイント

- ① 高所や斜面での作業時・通行時の安全管理の徹底
足場の点検・安全管理の徹底、安全帯等の使用方法の適正化、安全通路の確保及びその使用の徹底
- ② 建設機械等の安全管理の徹底
無資格者の運転禁止の徹底、運転手一人での作業禁止の徹底、作業環境の安全確保、機械・機器の定期的点検及び始業前点検の徹底
- ③ 下請作業の安全管理の徹底
工程・品質管理を含め下請の安全管理指導の徹底(職長の現場指導、KY活動、下請作業員の健康管理等)
- ④ 架線や埋設物の事前調査・確認や作業手順の徹底
設計時や現場着手時の調査・確認の徹底、該当箇所作業時における作業手順の徹底やKY活動
- ⑤ 安全施設の検討
仮設防護柵等の設置位置・構造の検討
仮設作業道の勾配幅員等の検討

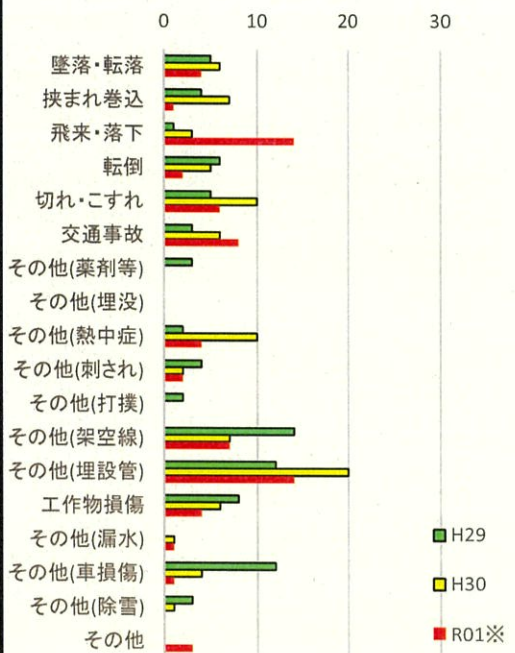
10. 事故全体の種類別、曜日別、時間別件数 (H29～R01)

事故の種類	労災のみ			全体			
	H29	H30	R01	H29	H30	R01※	増減
墜落・転落	5	5	2	5	6	4	-2
挟まれ巻込	4	7	1	4	7	1	-6
飛来・落下	1	2	3	1	3	14	11
転倒	4	5	0	6	5	2	-3
切れ・こすれ	5	10	5	5	10	6	-4
交通事故	1	0	0	3	6	8	2
その他(薬剤等)	1	0	0	3	0	0	0
その他(埋没)	0	0	0	0	0	0	0
その他(熱中症)	2	10	4	2	10	4	-6
その他(刺され)	3	2	1	4	2	2	0
その他(打撲)	3	0	0	2	0	0	0
その他(架空線)	1	0	0	14	7	7	0
その他(埋設管)	0	0	0	12	20	14	-6
工作物損傷	0	0	0	8	6	4	-2
その他(漏水)	0	0	0	0	1	1	0
その他(車損傷)	0	0	0	12	4	1	-3
その他(除雪)	0	0	0	3	1	0	-1
その他	0	0	0	0	0	3	3
	30	41	16	84	88	71	-17

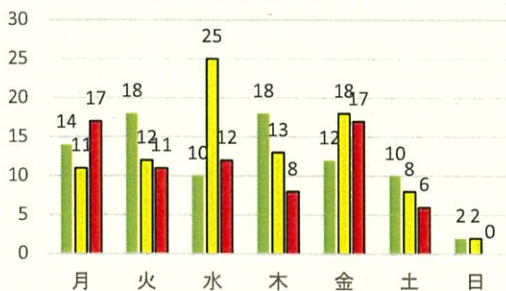
※R01より事故の種類を見直し
(工作物損傷・車損傷の一部が飛来・落下に含む)

※11月末現在

事故全体の種類別件数

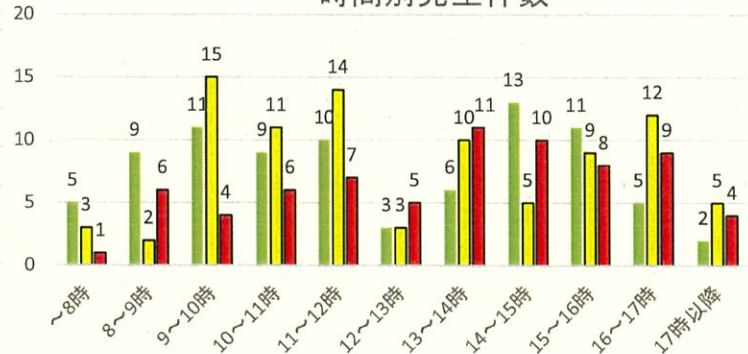


曜日別発生件数



※R01は月・金に事故多発傾向

時間別発生件数



※R01は13時以降に事故多発傾向